

入梅の候、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス感染症の流行で、不自由な生活を強いられている方も多いと思います。この感染症は、健康・命を奪う不安や恐怖を人々に与えるだけでなく、経済活動を制限し、社会を停滞させています。現在は社会活動が動き始めようとしています。今後、第2波、第3波の流行が心配されます。

千葉大学では、会議・集会の開催、施設利用等が制限され（千葉大学ホームページ参照）、教員免許状更新講習も大きな影響を受けています。現在、学生の入構規制が続き、授業も第2ターム（年6ターム制）までメディア授業（遠隔授業）で実践されています。平常授業に戻るのは、第4ターム（10月1日～）からではないかと予測する教職員も多くいます。

入構規制が解かれたとしても、大学の活動等が優先され、同窓会で使用する会場の確保は難しく、さらに、支部総会の開催を見送る支部がでてくる状況です。このことから、本年度の理事会、8月の定期総会の開催は難しいと思われます。医学部、工学部同窓会も総会等中止を決定しています。

このような状況下、6月11日（木）に常任理事会を開き、今年度の同窓会の活動について検討しました。議論を重ねた末、会則にはありませんが今年度は理事会、定期総会の開催を見送り、常任理事会の決議をもって会の運営を行うことといたしました。詳細については、同封の常任理事会資料を参照してください。

## 1 常任理事会（主な内容）

### ◎ 報告

- 新入生終身会費徴収について（入学者数と納入率の変遷）
- 支部状況について（5月の支部基本調査取りまとめ結果）
- 周年事業について（教育学部創立150周年記念事業について）

### ◎ 議事

- 今後の予定について
  - ・ 理事会・定期総会は中止！昨年度の会務報告了承・決算、会則改正、役員選出、今年度の事業・予算執行等は、常任理事会の議決をもって総会で承認されたものとみなす。
  - ・ 総会資料は例年通り作成し各支部に配付（8月）
- 令和元年度会務報告について
- 令和元年度会計決算について
- 会則の改正について
  - 第2章 事務所 → 事務局
  - 第5章 副会長3名 → 副会長若干名
  - 第6章 学内理事は・・・副会長を兼ねる → 学内理事は・・・常任理事を兼ねる  
・・・また、会長は必要に応じ事務局員を委嘱する
- 役員選出について <別紙参照>  
役員選考委員会案のとおり、会長、副会長、監事は再任  
令和2年度の学内理事が決まっていないので、表中【学内理事】は昨年度のまま、学内理事長は空欄
- 功労者・永年勤続者表彰について  
支部基本調査で各支部から功労者・永年勤続者表彰の対象者を集計。今後、昭和57年3月卒業生を調査し、永年勤続表彰対象を確定した後、感謝状・記念品と同窓会報をお届けする。（郵送）  
現在、永年勤続者表彰71名、功労者表彰3名（宮島佑吉氏、森 重文氏、鎗田弘子氏）
- 令和2年度予算案について

## 2 連絡

- 支部助成金交付について：支部総会開催後、速やかに「支部同窓会総会開催状況報告書」を提出してください。それを受けて、助成金を交付します。
- 各支部長には教育学部創立150周年記念事業推進委員会の募金部会を引き受けていただいています。支部役員改選の際、引き継ぎをお願いします。支部長には、「払込取扱票（ゆうちょ銀行利用）」と「千葉大学SEEDS基金寄附申込書（現金用）」を同封させていただきました。不足があればお申し出ください。

本年度はこのような変則な形になってしまい申し訳ありません。お気づきの点がございましたら、事務局へご意見をお寄せください。随時、会員諸氏のご意向を反映させるよう努力します。